

令和7年10月20日

調査・研修報告書（会派個人用）

会派名：清和会

報告者：桜田亮太

実施場所：参議院会館	実施日：令和7年10月7日
■目的・課題・問題事項（調査・研修に先立っての思いや本市の現状など） 参議院議員の方や、国土交通省地方政策課の方々から直接レクチャーして頂く機会を設けたので、地方の課題、ひいては日本の課題を改めて勉強し、本市の現状を交えて意見交換をし、今後の活動の糧にしていきたい。	
■参考とすべき事項 主要な集落を今後とも維持するためには、一定程度の人口集積が不可欠であり、コンパクトシティは必要と考える。コンパクト・プラス・ネットワークについて、立地適正化計画は年々取り組む都市が増え、令和7年3月において、636都市の計画が公表され、目標600都市を達成している。本市も作成・公表済であることから、都市計画区域（庄原、西城、東城）を中心に取り組みを進める必要性を感じる。	
■提言・その他（本市の施策等にどのように活用すべきかなど） 二地域居住に関しては、すでに本市では5月、広島みどり信用金庫さんが特定居住支援法人に指定されている。庄原こどもの夢学園等、生活拠点を県北部に考えておられる方などの支援体制を今後とも注視していきたい。	

※ 調査・研修終了後、一週間以内に会派事務局へ提出してください。